

「節電への御協力をよろしくお願い致します」

(お知らせ)

「第4回アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワーク (AP-BON) ワークショップ」
及び「AP-BON 国際シンポジウム」の結果について

平成23年12月16日 (金)
環境省 自然環境局
生物多様性センター
代 表 : 0555-72-6031
直 通 : 0555-72-6033
センター長 : 奥山 正樹 (内線 : 111)
総括企画官 : 鑪 雅哉 (内線 : 213)
上級連絡調整官 : 鈴木 渉 (内線 : 200)
担 当 : 竹原 真理 (内線 : 211)

環境省は、「第4回アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワーク (AP-BON*) ワークショップ」及び「AP-BON 国際シンポジウム」を、12月2日 (金) から4日 (日) の3日間、東京において開催しました。

本ワークショップ及びシンポジウムには国内外から専門家39名が参加し、生物多様性条約の「愛知目標」の達成状況の評価など、アジア太平洋地域における生物多様性観測の役割やあり方について発表や検討が行われました。

* Asia-Pacific Biodiversity Observation Network

1. 会議の概要

(1) 会議名称

- ① 日本語 : 第4回アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワークワークショップ
英語 : Fourth Asia-Pacific Biodiversity Observation Network (AP-BON) Workshop
- ② 日本語 : アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワーク国際シンポジウム
英語 : Asia-Pacific Biodiversity Observation Network (AP-BON) Science Symposium

(2) 開催期間

- ① 第4回 AP-BON ワークショップ : 平成23年12月2日 (金) 9:30~18:00
3日 (土) 9:30~18:00
- ② AP-BON 国際シンポジウム : 4日 (日) 10:00~17:00

(3) 開催場所

TKP 赤坂ツインタワーカンファレンスセンター9階会議室 (東京都港区)

(4) 参加者等

専門家 (海外 : 20名、国内 : 19名) 及び傍聴者 62名

2. 会議の結果

会議では、アジア太平洋地域における生物多様性の評価と予測のための AP-BON 実施計画の検討、及び生物多様性に関するデータの共有と統合に関する検討が行われた。

(1) 第4回アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワーク (AP-BON) ワークショップ

ワークショップでは、種・遺伝子、森林、陸水、海洋の4つの作業グループを設け議論が行われ、その検討結果を全体会合でとりまとめるという形で作業が行われた。その結果、AP-BON の実施計画の案がとりまとめられ、今後、関係者への意見照会などを経て、実施計画がとりまとめることとされた。

また、2012 年以降の主要な取組として、地球環境研究総合推進費等の研究費による調査研究の実施、2012 年9月に開催される国際自然保護連合 (IUCN) 主催の第5回世界自然保護会議 (WCC5) における AP-BON ワークショップの開催などが合意された。

(2) アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワーク (AP-BON) 国際シンポジウム

AP-BON 共同議長の矢原教授より第4回 AP-BON ワークショップの成果が紹介された後、生物多様性条約、IPBES (生物多様性と生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム)、GEO-BON (地球観測グループ生物多様性観測ネットワーク)、GBIF (地球規模生物多様性情報ファシリティー) など関連する国際的な枠組みに関する動きが紹介された。

その後、「生態系サービスに関する観測」「生物多様性に関する情報地図」などのテーマによりパネルディスカッションが行われた。

3. 会議プログラム (参考)

(1) 第4回 AP-BON ワークショップ

< 1日目: 2日 (金) >

①開会挨拶 (環境省自然環境局長 渡邊綱男)

②全体会合

a) AP-BON の成果と課題について (AP-BON 共同議長 九州大学教授 矢原徹一)

b) 生物多様性の評価と指標

・ASEAN 生物多様性アウトルックについて (ASEAN 生物多様性センター Sheila Vergara)

・日本における生物多様性総合評価について (東北大学教授 中静透)

③分科会 (以下の各分科会に分かれ検討)

- ・第1分科会: 種・遺伝子
- ・第2分科会: 森林
- ・第3分科会: 淡水
- ・第4分科会: 海洋

< 2日目: 3日 (土) >

①分科会（1日目の続き）

②全体会合

a) 分科会報告

b) 第5回世界自然保護会議（2012年韓国）について（国民大学校教授 Eun-Shik Kim）

c) データの共有について

d) 2012年以降の活動について

（2）AP-BON 国際シンポジウム：4日（日）

① 開会挨拶（環境省自然環境局生物多様性センター長 奥山正樹）

② 第4回 AP-BON ワークショップの成果について（AP-BON 共同議長 九州大学教授 矢原徹一）

③ ゲストプレゼンテーション

a) 愛知目標の概要と AP-BON へ期待すること（生物多様性条約事務局 Kieran Noonan Mooney）

b) 愛知目標達成の評価について（リスボン大学 Vânia Proença）

c) 生物多様性と生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）の設立について（名古屋市立大学大学院准教授 香坂玲）

d) インドにおける生物多様性観測とデータ共有について（インド・リモートセンシング研究所 Partha Sarathi Roy）

e) 生物多様性観測のための ASEAN 生物多様性センターの活動について（ASEAN 生物多様性センター Sheila Vergara）

f) GBIF の GEO-BON への貢献—生物多様性データの標準、基盤、相互運用（地球規模生物多様性情報ファシリテーター（GBIF）事務局 Éamonn Ó Tuama）

④ パネルディスカッション

司会者：AP-BON 共同議長 九州大学 矢原徹一

パネラー：生物多様性条約事務局 Kieran Noonan Mooney

リスボン大学 Vânia Proença

名古屋市立大学大学院 香坂玲

インド・リモートセンシング研究所 Partha Sarathi Roy

ASEAN 生物多様性センター Sheila Vergara

GBIF 事務局 Éamonn Ó Tuama

4. 発表資料

本ワークショップ及びシンポジウムでの発表資料は、AP-BON ウェブサイト (<http://www.biodic.go.jp/gbm/gbon/>) において順次公表の予定です。